

施策 3 自立する力の育成

指標 1	【項目】 将来の夢や目標はあると回答した児童生徒の割合			【説明】 全国学力・学習状況調査 質問紙調査において、「将来の夢や目標はある」と回答した児童生徒の割合				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	77.6	—	75.1	75.4			100
担当課評価								
【担当課】 教育指導課	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗はおおむね順調ですが、令和4年度の実績値が令和元年度の現在値よりも減少しているため、今後の取組には改善が必要です。 ・コロナ禍のため社会体験事業は中止となっていますが、各学校においては継続して進路指導・キャリア教育に取り組んでいます。 ・身近な人や事業所の方にインタビューを実施するなど、工夫した取組を行った学校もあったため、そうした情報を他の学校へも提供します。 							

指標 2	【項目】 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合			【説明】 全国学力・学習状況調査 質問紙調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	94.3	—	94.4	95.4			100
評価理由								
【担当課】 教育指導課	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・「キャリア・パスポート」を通して、よりよい人間関係の形成などにつなげることができています。 ・引き続き、児童生徒が主体的に目的意識をもって進路選択を行うことができるよう、進路指導・キャリア教育研修会を通して教職員の指導力を高めていきます。 							

施策 3 自立する力の育成

総合評価

B

総合評価について
進捗はおおむね順調であり、評価もおおむね良好です。コロナ禍のため中止となった事業もありますが、発達段階に応じた進路指導やキャリア教育の実施、また「キャリア・パスポート」を校種間で共有し、系統的なキャリア教育を実施するなど、自立する力の育成のための活動を行うことができています。今後も自立する力の育成のための活動を継続します。

学識経験者等
意見

- ・第三次川越市教育振興基本計画の中で課題として捉えている「勤労観や職業観を育てる」「社会人・職業人として必要な意欲や態度を育てる」ための指導や活動は、社会や職業が大きく変化する中で難しいと考えるが、「キャリア・パスポート」などの取組を進めながら、研究を重ねて推進していただきたい。
- ・主権者教育の中で、参加し決定を行う教育として模擬選挙を行っている学校があるとのことだが、選挙以外にも主権者が参加する方法は考えられるので研究していただきたい。
- ・指標2の「人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合」であるが、「人の役に立つ人間になりたいと思う」を選択しなかった5パーセント程の児童生徒がどんな理由で選択しなかったか適切に把握し、注視していく必要がある。
- ・施策の柱(2)主体的に社会の形成に参画する力の育成のために、細施策として①主権者教育の推進、②環境教育の推進、③消費者教育の推進を挙げているが、グローバル化に対応する教育の推進など、当該施策の柱に貢献する施策もあるため、横断的に捉えて取り組んでいただきたい。

【施策】 3 自立する力の育成

【施策の柱】 (1)進路指導・キャリア教育の充実

細 施 策	①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実	担当課	関連指標
		教育指導課	指標1
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市中学生社会体験事業を実施し、地域の事業所等での体験活動を通して勤労観や職業観を養う機会の充実を図ります。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、令和4年度の社会体験事業は中止 ・学校によって身近な人や事業所の方にインタビューを実施 9校 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体験事業は中止となりましたが、身近な人から職業について学んだり、進路・キャリア教育についての講演会を通して、望ましい勤労観・職業観について学ぶことができています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤労観や職業観を養えるような学習やキャリア教育を工夫しながら継続することが必要です。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・キャリア教育を充実するために、令和5年度は社会体験活動を実施します。急遽できなくなった場合でも、地域や関係機関等と連携し、職業調べなどを実施していきます。 		

細 施 策	②小学校・中学校・高等学校の系統的なキャリア教育の充実	担当課	関連指標
		教育指導課	指標2
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が主体的に、目的意識を持って自分の進路選択ができるよう、発達段階に応じた進路指導・キャリア教育の充実に努めます。 ・児童生徒が自分自身のキャリア発達を継続的に記録し、「キャリア・パスポート」を作成、蓄積することで、見通しと振り返りを行うことができる機会の充実を図ります。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア・パスポート」を作成 54校（市立小中学校全校） ・中学卒業後、進学先の高等学校と「キャリア・パスポート」を共有し系統的なキャリア教育を実施 22校（市立中学校全校） ・小・中学校教職員を対象にした文部科学省職員を講師とした進路指導・キャリア教育研修会を実施 1回 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において発達段階に応じた進路指導・キャリア教育を実施し、「キャリア・パスポート」の作成及び蓄積を行い、校種間における系統的な接続を行うことができています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア・パスポート」をより活用できる方法の研究が必要です。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア・パスポート」を一助として、児童生徒が見通しをもって自分の進路選択ができるよう、校種間や学年間での取組の共通理解を図ります。 		

【施策】 3 自立する力の育成

【施策の柱】 (2)主体的に社会の形成に参画する力の育成

細 施 策	①主権者教育の推進	担当課	関連指標
		教育指導課	指標2
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 将来、社会に関心を持ち、よりよい社会の在り方を主体的に考え判断し、社会の中で協調、自立できる児童生徒を育成するため、主権者としての自覚を培う教育の推進を図ります。 児童生徒が社会で起きている事柄に興味・関心を持ち、社会の形成に参画する基礎を培うため、現実の具体的な事象を模擬的に取り上げたり、議論を通して多面的・多角的に考えさせたりできるよう、児童生徒の発達の段階に応じた取組の充実を図ります。 児童生徒に税の意義や役割を正しく理解させるために、地域や関係機関等と連携し、租税に関する教育に取り組んでいきます。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された指導内容に基づき、社会科、技術・家庭科、道徳、特別活動を中心に各学校で指導 54校（市立小中学校全校） 川越税務署との連携による租税教室の実施（小学校：30/32校 中学校：9/22校 特別支援学校：1/1校） 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校において、学習指導要領に示された指導内容を各教科・領域で指導することで、主権者教育を実施しています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒に税の意義や役割を正しく理解させるために、地域や関係機関等と連携した租税に関する教育をさらに進めることが必要です。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 市内の優れた指導事例等を共有することで、効果的な指導実践を広めていきます。 関係機関等と連携しながら主権者教育及び租税に関する教育の啓発を進めます。 		

細 施 策	②環境教育の推進	担当課	関連指標	
		教育センター	—	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 未来の環境の保全・創造を担う児童生徒を育成するため、発達段階に応じて関係機関や地域と連携した体験活動の充実を図ることで環境教育を推進します。 環境マネジメントシステムの考え方を取り入れ、環境にやさしい学校づくりに全員で創意工夫しながら取り組む川越市エコチャレンジスクール認定制度を推進します。 			
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育研修会 1回 エコチャレンジスクール認定校数 56校（市立学校全校） 市制施行100周年記念事業川越こども環境宣言2022（市立学校全校） 			
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	エコチャレンジスクール認定校数（校）	56	56	56
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> エコチャレンジスクール認定事業において、全市立学校を3グループに分け、1年目に実施計画を立案し実施、2年目は実施状況を環境政策課と訪問し認定、3年目は3年間の取組のまとめを行っています。 エコチャレンジスクール認定事業において、優良な取組を行っている学校の報告を研修会等を通して広めています。 毎年1年目の該当校に環境教育研修会を実施しています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が主体となって、進んで取り組める工夫が必要です。 教職員の環境教育に関する研修を充実させることが必要です。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が環境問題解決のため主体的に活動できるよう「市制施行100周年記念事業川越こども環境宣言2022」の趣旨を踏まえた研修を実施します。 包括連携協定を締結した武州ガス・東京ガスによる学校への出前授業等で、環境教育を推進します。 			

【施策】 3 自立する力の育成

【施策の柱】 (2)主体的に社会の形成に参画する力の育成

細 施 策	③消費者教育の推進	担当課	関連指標
		教育指導課	指標2
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活に関する知識を習得し、将来、適切な意思決定や消費行動ができる自立した消費者として、安心して安全な消費生活を営めるよう、発達段階に応じ、教科や特別活動等あらゆる学校活動を通して消費者教育の推進を図ります。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 消費者教育に関連する教育活動 小学校：3～5年生の社会科、5、6年生の家庭科、道徳 32校（市立小学校全校） 中学校：社会科（公民的分野）、技術・家庭科（家庭分野）、道徳 22校（市立中学校全校） 川越税務署との連携による租税教室の実施 （小学校：30／32校 中学校：9／22校 特別支援学校：1／1校） 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づいて、主に社会科、家庭科等の教科において、将来、自立した消費者として安心安全な消費生活を営める児童生徒の育成に努めています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づき、自立した消費者として、児童生徒の身近な消費生活における課題を解決する力を養っていくことが必要です。 地域や関係機関等と連携し、租税に関する教育を進めることが必要です。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害が低年齢化していることから、児童生徒が、自立した消費者として適切な対応を取ることができるよう、発達段階に応じた消費者教育の充実を図ります。 関係機関等と連携しながら主権者教育及び租税に関する教育の啓発を進めます。 		